

2020年7月17日

登録会員各位

2020 東京パラリンピック競技大会の日本代表推薦選手の選考について  
(2020年7月改定)

一般社団法人日本パラ陸上競技連盟

一般社団法人日本パラ陸上競技連盟（以下本連盟）は、2020年4月30日に国際パラリンピック委員会（以下IPC）より「Tokyo 2020 Paralympic Games Qualification Regulations」の改定版が公開されたのに伴い、2020年1月20日公表済みの内容を一部改定して、下記のとおり選考委員会において選手選考を行い、理事会で承認し日本パラリンピック委員会（以下JPC）へ推薦いたします。

記

1. 選考対象条件

1.1) ～ 1.4) を全て満たしていること。

- 1) **2021年度**本連盟登録会員であること。
- 2) **2021年シーズン**国際パラリンピック委員会選手登録（以下IPC登録）し、ライセンスを取得していること。
- 3) World Para Athletics(以下WPA)の国際競技クラスが確定し、国際競技クラスステータス“New”、“Review”、“Confirmed”のうち、“Confirmed”もしくは“Review”であること。ただし“Review”の場合は、JPCへの推薦およびエントリー等の手続きまでに、Fix Review Dateで**2021年12月31日以降（FRD2022）**であること。なお、国際競技クラスと国際クラスステータスについて次のサイトで確認できます。  
<https://www.paralympic.org/athletics/classification/master-list>
- 4) IPCの公表している東京大会選手出場資格および実施種目エントリー標準記録を突破していること。

## 2. 選考基準

### 1) トラック&フィールド種目

① 2019 Dubai WPA 世界パラ陸上競技選手権大会（以下 2019 世界パラ陸上）で 4 位以内入賞した選手であること。（すでに 13 名内定済み。）

② 出場資格ランキング枠該当選手

WPA Rankings - Tokyo 2020 Paralympic Games - **24 month ranking**（2019 年 4 月 1 日～**2021 年 4 月 1 日**）6 位以内の者。ただしマラソンは除く。

③ ハイパフォーマンス標準記録突破選手

2018 年 10 月 1 日～**2021 年 6 月（日付未定）**までの WPA 公認大会においてハイパフォーマンス標準記録を突破した選手のうち、前述の全割当方式において、出場枠未獲得の者で東京大会 8 位入賞の可能性のある選手を対象に、選考委員会にて推薦順位を決定する。したがって、すべてのハイパフォーマンス割当枠該当選手が 2020 東京パラリンピック競技大会に出場できるものではない。

なお、推薦順位に関する規定は別に定める。

④ 同一競技クラス並びに同一種目において、前述の 1) ①と②と③の合計選手数が 3 名を超える場合に限り、①の選手を最優先し、次に②の上位者から順に選考し、最後に③の上位者から順に最大 3 名まで選考する。

### 2) リレー（ユニバーサルリレー）種目

東京大会でのリレー種目はユニバーサルリレーのみであり、出場条件は次のとおりである。

① 2019 世界パラ陸上のユニバーサルリレー上位 4 チーム

② 2018 年 10 月 1 日～**2021 年 8 月 1 日**までの WPA ユニバーサルリレー出場ランキングで、①を除く上位 12 チーム

上記 2)の①または②の出場資格を取得したとき、ユニバーサルリレーへエントリーする。

ユニバーサルリレーのメンバーは、原則個人種目で選考される選手で編成する。ただしリレーメンバーの編成上、強化委員会による推薦選手を最大 2 名までバイパルタイト招待枠割当方式で IPC へ申請することがある。

3) マラソン種目 (T11/12 を除く)

マラソンのみに出場する選手の選考は男女それぞれ最大3名までとし、次のとおりとする。

- ① 2019 WPA マラソン世界選手権大会で4位以内に入賞した選手であること。(すでに1名内定済み。)
- ② 2019 WPA マラソン世界選手権大会で4位以内に男女それぞれ3名入賞しなかった場合、以下のとおりとする。
- ③ 2021 WPA マラソンワールドカップが開催される場合、2021 WPA マラソンワールドカップで6位以内入賞かつ2021 WPA マラソンワールドカップ前に出場資格を有する選手を除き上位2名以内の選手であること。  
※2021 WPA マラソンワールドカップへの派遣選手の選考は、WPA より開催要項が公表されたのちに詳細を決定する。ただし、2021 WPA マラソンワールドカップ代表選考は2020年12月31日時点での WPA Rankings - Tokyo 2020 Paralympic Games – MES ranking – マラソン男女各クラスの順位に基づき選考する。
- ④ 2021 WPA マラソンワールドカップが開催されない場合、「Tokyo 2020 Paralympic Games Qualification Regulations」に準じる (WPA Rankings - Tokyo 2020 Paralympic Games – Marathon ranking (2019年4月1日～2021年4月1日) で6位以内かつ他の割当方法 (ハイパフォーマンス割当枠を除く) で出場資格を有する選手を除き上位2名以内の選手であること)。
- ⑤ ハイパフォーマンス標準記録突破選手  
2018年10月1日～2021年6月(日付未定)までのWPA公認大会においてハイパフォーマンス標準記録を突破した選手のうち、前述の全割当方式において、出場枠未獲得の者で東京大会8位入賞の可能性のある選手を対象に、選考委員会にて推薦順位を決定する。したがって、すべてのハイパフォーマンス割当枠該当選手が2020東京パラリンピック競技大会に出場できるものではない。  
なお、推薦順位に関する規定は別に定める。
- ⑥ マラソンにおいて前述の3) ①、③もしくは④と⑤の合計選手数が3名を超える場合にかぎり、①の選手を最優先し、次に③もしくは④の上位者から順に選考し、最後に⑤の上位者から順に最大3名まで選考する。

\*トラック種目で推薦された選手がマラソン(車いす)に出場する場合は、最大3名までを対象とする。この場合、World Para Athletics Rankings - Tokyo 2020 Paralympic Games – Eligibility (車いすマラソン) を参考にする。

3. その他

- 1) 本選考基準は IPC の公表している **東京大会出場資格「Tokyo 2020 Paralympic Games Qualification Regulations」** により定めている。
- 2) 本選考基準の他に IPC より出場選手の割り当てがあった場合、選考委員会で協議し理事会で対応を決定する。
- 3) 本連盟より JPC へ推薦した選手が、次に該当する場合は理事会にて審議し推薦を取り消すことがある。
  - ① 国際クラスステータスが東京大会出場資格基準を満たさなかった場合
  - ② アンチ・ドーピング規則違反が認められた場合
  - ③ 東京大会までに医学的問題で競技力を発揮できない事態が生じた場合
  - ④ 代表選手として不適切な行動が認められた場合
  - ⑤ その他出場不可能な事態が生じた場合
- 4) 登録会員が本選考基準について異議のある場合、本選考基準 **(2020年7月改定)** 公表後 1 週間以内に当連盟事務局まで電子メールにて連絡することができる。異議については理事会で審議し、対応は当連盟 HP で公表する。

日本パラ陸上競技連盟事務局電子メールアドレス：[japan-jimukyoku1@jaafd.org](mailto:japan-jimukyoku1@jaafd.org)

以上